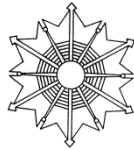


消防年報



第38号



平成29年版

久米島町消防本部

平成30年発行

はじめに

この年報は、平成29年中の久米島における消防業務に関する諸般の実績を統計的に収録し、消防の現況を紹介するとともに、将来の消防対策の参考に供する目的をもって編集しました。

なお、年報の数値は、火災、救急については暦年、他は年度とし、その他人事配置等必要なものは、当該表にそれぞれ記載した年月日によるものであります。

おわりに、近年災害事象が多種多様化する中、消防に課せられた使命は多大となっております。久米島町消防本部及び消防団においても、消防に課せられた使命を十分に自覚し、町民の負託に答えられるべく、住民が安心して安全に暮らせることができる地域造りを目指し、全力を傾注してまいりますので、今後とも消防行政への御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成30年6月

久米島町消防本部

平成29年度久米島町消防本部（署）施政方針

平成23年の東日本大震災後、国民の防災意識が高まり、全国各地で防災のみならず減災に対する取り組みが積極的に行われています。本町においても久米島町地域防災計画を定期的に見直し、各防災関係機関が連携して、災害に強いまちづくりを目指します。また、各種災害の予防と被害の軽減に努め、尊い人命や貴重な財産を守るため日々の訓練の積み重ねをはじめ、消防力の「充実・強化」に取り組んでまいります。

消防救急デジタル無線の共同整備が完了し、県内36市町村で構成する沖縄県消防指令センターが設置され、平成28年4月から本格運用されました。このことにより広域的災害に強いネットワークを構築し、消防サービスの高度化を図ります。

救急業務につきましては、救命率の向上、傷病者の負担軽減など質の高い救急医療を住民に提供するため、計画的に病院実習や追加講習を実施するなど救急隊員の技術の向上を図ってまいります。又、応急手当の普及活動においても、実際に住民によるAEDを活用しての応急処置を施した、救命効果事例が有りました。本年度も引き続き、町民及び事業所等へ応急手当普及啓発を推進してまいります。

住宅火災を未然に防ぐ目的で、火災警報器の設置が義務づけられてから6年が経過しました。久米島町における警報器設置率は現在、約44%となっています。未設置の住宅についても火災警報器の設置推進・強化を図ってまいります。

地域の防災力を高めるために、消防団や自主防災組織及び女性消防クラブの育成強化を図り「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に社会環境の変化に即した消防防災体制の充実強化を図りながら災害に強い町づくりに取り組んでまいります。

目 次

位置と地勢	1
久米島の位置図	2
久米島町の人口及び世帯数	3
久米島町の面積	3
行政区別人口及び世帯数	4
久米島町消防本部の経過及び沿革	5～10
久米島町消防本部（署）・消防団機構図	11

〔総務編〕

消防職員の配置状況	13
消防職員の定数及び実員数	13
消防職員の年齢調	14
消防職員の勤務年数	14
消防職員の研修状況	15
消防職員の特殊技能調	16
平成30年度消防予算内訳・構成比	17
平成29年度消防予算決算	18

〔消防団編〕

久米島に於ける消防の沿革	20
久米島町消防団の沿革	21～26
消防団員定数及び実数	27
消防団員の報酬及び費用弁償	27
消防団員の階級別勤務年数調	28
職業別団員構成	28
年齢別団員構成	29
出動回数・種別・延人員	29

〔消防施設・機械編〕

消防本部及び署所の名称・所在地	31
消防機械	31
現有消防力と指針との比較	32
通信施設	33
救助隊及び特別救助隊装備救助器具	34
消防水利現勢	35

〔予防編〕

危険物規制	37
危険物製造所等施設数	37
製造所等の立入検査状況	37
数量別危険物製造所等の数	38
危険物施設許認可事務等処理状況	39
容量別屋外タンク貯蔵所の数	40
危険物施設等に対する消防法違反処理状況	40
月別・用途別建築同意件数	41
月別・行政区別建築同意件数	42
建築同意事務処理状況	43
年別・月別建築同意件数	43
用途別消防用設備等設置件数	44
防火対象物数及び立入検査状況	45
用途別消防設備等設置状況	46
防火管理者選任状況等	47
防火物品使用状況	48
避難訓練指導状況	49.50
消火訓練指導状況	51.52
消防用設備等の点検報告の実施状況	53
予防関係各種届出状況	54

〔火災統計編〕

平成 29 年火災概要	56
過去 5 ヶ年の出火原因	57
過去 5 ヶ年の火災件数・損害額及び焼損面積比較表	58
災害出動（活動）状況	59
月別災害覚知状況	59

〔救急編〕

月別出場件数搬送人員	61
行政区別搬送人員	62
月別医療機関別搬送人員	63
事故種別医療機関別搬送人員	63
事故種別傷病程度別搬送人員	64
救急隊員の行った応急処置	65
現場到着所要時間別出場件数	66
収容所要時間別搬送人員	66
曜日別出場件数	67
覚知別出場件数	67
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	68
急病にかかる疾病分類傷病程度別搬送人員	69
時間別出場件数	70
月別島外への急患搬送件数・搬送人員	71
傷病別島外への急患搬送人員	71
月別医療機関別自衛隊へり等による急患搬送人員	72
島外への急患搬送にかかる収容医療機関別搬送人員	72
年別島外への急患搬送件数・搬送人員	73
年別救急業務実施状況	74

位置と地勢

久米島は、沖縄本島那覇市の西方約 100 km、東経 126 度 45 分から 49 分、北緯 26 度 15 分から 25 分の地点に位置する離島で、人口は 7,845 で年々減少している。

島の総面積 63.50k m²、島の周囲 48 km で、島の北側に宇江城岳、南東側にアーラ岳があり、この二つの間を小高い丘陵が連繋し、これらの山から東側及び南西側に緩やかに傾斜して大きく平地を作り上げている。南部海岸は、隆起した珊瑚礁が島を抱くような形で数キロも帯状に伸び、自然の防波堤の役目をしており、遠浅の内海では白い砂浜が広がり海浜レジャーが楽しめる。また、北部海岸においては、断崖が多く、澄きとおるような青い空とコバルトブルーの海に調和した風光明媚な自然景観を見せてくれる。

土質は、平地の広がる南西側で石灰岩質の沖積層土壌が分布し、その他の地域では輝石安山岩の上にできた安山岩質層土壌でそのほとんどを占めている。

平成 20 年 10 月、絶滅危惧種であるキクザトサワヘビの生息地である宇江城岳の溪流及び湿地 255 ha が、「久米島の溪流・湿地」として、ラムサール条約に登録された。

農地は、山すそに至るまで土地基盤整備が進み、さとうきびを主に野菜・果樹・花卉の生産が行われている。水産においてもリーフ内の珊瑚をいかし、もずく養殖及び海洋深層水を利用した車海老、海ぶどうなど栽培漁業が盛んに行われている。

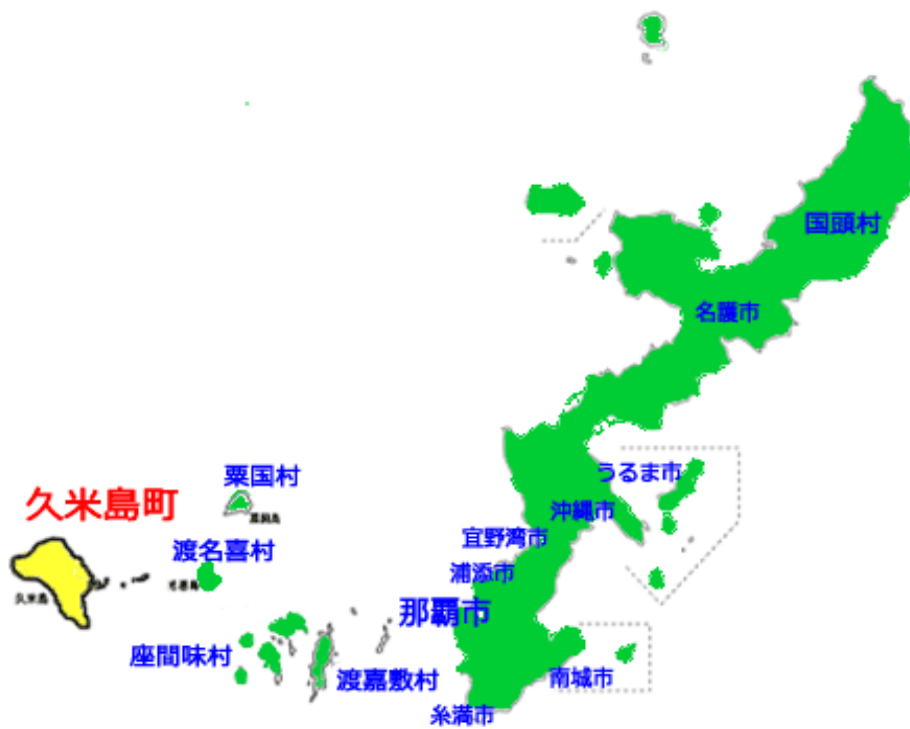
久米島の新規産業となる海洋深層水関連の製造施設等が、新設され若者の雇用効果等も確立されつつある。

特産品として泡盛・久米島紬・味噌・黒糖・車エビ・モズク・海ブドウ、あるいは海洋深層水を利用した飲料水や化粧品等が好評を得、すべて久米島の歴史と自然の素材を生かした産物がこの島を支えている。

平成 16 年 6 月に、海洋深層水を活用した温浴施設として「バーデハウス久米島」が開設され、来島者と地元住民との交流の場で健康に関心のある様々な年齢層を対象とした長期滞在型保養、観光の推進が期待されている。また、平成 25 年 4 月には、海洋深層水を利用した世界初の海洋温度差発電実証プラントで発電が開始され、将来的には島内の産業施設等、島全体の電力供給が期待されている。



久米島位置図



久米島町の人口及び世帯数

(平成30年4月現在)

住民登録人口			計	世帯数
性別	男	女		
	4,206	3,691	7,897	3,982

久米島町の面積

(平成30年4月現在)

地目	面積 (m ²)	比率 (%)
宅地	2,046,184	3.21
畑	21,917,575	34.43
山林原野	26,094,005	41.00
農業用施設用地	180,000	0.28
公共用施設用地	414,042	0.65
その他	12,998,194	20.42
合計	63,650,000	100

行政区別人口及び世帯数

(平成30年4月現在)

行政区別	住民基本台帳人口			世帯数
	男	女	計	
仲村渠	57	46	103	52
具志川	69	56	125	73
仲地	119	126	245	109
山里	70	59	129	60
上江洲	35	35	70	35
西銘	138	120	258	119
久間地	22	22	44	20
北原	77	72	149	72
大原	132	106	238	111
鳥島	222	167	389	182
仲泊	569	520	1,089	533
大田	145	143	288	136
兼城	122	104	226	127
嘉手苅	206	178	384	208
宇江城	117	89	206	95
比屋定	36	33	69	41
上阿嘉	19	16	35	19
下阿嘉	27	20	47	22
真謝	258	225	483	251
宇根	125	97	222	114
真泊	62	66	128	66
泊	50	41	91	44
西奥武	15	7	22	16
東奥武	4	3	7	1
謝名堂	217	196	413	215
比嘉	361	322	683	319
真我里	109	130	239	136
銭田	72	57	129	69
島尻	68	44	112	59
山城	68	56	124	58
儀間	380	343	723	383
宇江城山田原	43	0	43	43
イーフ	192	192	384	194
合計	4,206	3,691	7,897	3,982

久米島町消防本部の経過及び沿革

昭和54年	9月	5日	仲里村長平良盛忠、具志川村長仲村仁明両氏が、消防事務組合設立準備委員会設置の協約書を締結
	9月	8日	第1回消防事務組合設立準備委員会
	9月	19日	第2回消防事務組合設立準備委員会
	10月	8日	消防事務組合政令指定希望申請
	11月	6日	第3回消防事務組合設立準備委員会
	12月	21日	第4回消防事務組合設立準備委員会
昭和55年	2月	1日	1月31日付で県総務部長より、消防庁消防課長からの消防本部・署義務設置町村の政令指定(内定)通知
	2月	8日	第5回消防事務組合設立準備委員会
	2月	8日	仲里村・具志川村両村議会において久米島消防組合の設置について久米島消防組合規約を議決する
	2月	13日	久米島消防組合設立許可申請県知事へ提出
	3月	24日	3月19日付け久米島消防組合設立許可指令 (設立年月日 昭和55年4月1日)
	4月	1日	久米島消防組合設立(消防吏員21名) 消防本部・消防署(仲里村字比嘉97-4) 分遣所(具志川村字仲泊699) 消防長に川端信一氏仲里村役場より就任 次長に内間邦夫氏具志川村役場より就任
	4月	12日	久米島消防組合初議会 議長及び副議長の選任、管理者及び副管理者の選任、監査委員の選任同意、専決処分(久米島消防組合条例)の承認並びに久米島消防組合一般会計歳入歳出予算の議決 議長 吉浜龍夫、副議長 城間清源、管理者 平良盛忠 副管理者 仲村仁明、監査委員 藤村真忠・平良清吉、各氏が就任
	5月	17日	久米島消防組合発足式典
	7月	2日	指令車購入
	11月	29日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入、具志川分遣所に配置
	11月	29日	無線移動局1基設置
昭和56年	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員 吉浜龍夫・仲真良典・盛本昌明各氏 任期满潮により退任
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員 吉浜龍夫・仲真良典・盛本昌明各氏就任
	4月	1日	消防職員4名採用(職員数25名)
	6月	11日	組合議員議長に吉浜龍夫氏選出される
	10月	15日	小型動力ポンプ積載車1台購入
	10月	31日	無線移動局2基設置
	12月	25日	日本損害保険協会より救急車1台寄贈、署に配置
昭和57年	4月	1日	消防職員3名採用(職員数28名)
	4月	1日	空港消防所受託業務開始(職員3名配置) 空港災害用化学消防車1台配置
	6月	19日	那覇保健所久米島支所を一部借用し本部・署を移転する (具志川村字嘉手苺662)(分遣所廃止)
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員城間清源・高里久三・平田清吉各氏任期 議選 監査委員平田清吉氏任期满了により退任
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員に佐久川盛有・平田清吉・朝崎勉各氏が就任
	9月	28日	議選 監査委員平田清勇氏就任
	10月	2日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入
昭和58年	2月	25日	収入役 宮平政健氏退任
	3月	1日	収入役に仲村昌清氏就任
	3月	28日	具志川村消火栓5基設置(兼城・鳥島(2)・大田・仲泊)
	3月	31日	職員1名退職
	4月	1日	出向職員2名仲里村役場・具志川村役場へ復帰、1名仲里村役場より出向する。 消防職員1名採用(職員数27名)
	9月	7日	日本消防協会より広報車1台寄贈
	12月		仲里村防火水槽2基設置(謝名堂・宇江城)

昭和59年	12月	10日	消防計画審議委員会発足(8名)
	4月	1日	出向職員2名仲里村役場・具志川村役場へ復帰
	4月	1日	消防職員3名採用(職員数28名)
	9月	28日	副管理者 仲村仁明氏任期満了により退任
	9月	29日	副管理者に野村時雄氏就任
	9月	29日	職員2名退職
昭和60年	11月	13日	次長 内間邦夫氏退任し具志川村へ復帰
	12月	1日	次長に山里昌輝氏具志川村役場より就任
	12月	26日	救急車購入(トヨタⅡB型)
	12月	31日	出向職員1名仲里村役場へ復帰
	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員吉浜龍夫・仲真良典・盛本昌明氏任期満了により退任
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員に仲村昌栄・仲真良典・田端善裕各氏が就任
昭和61年	4月	1日	消防職員2名採用(職員数27名)
	4月	19日	組合議会議長に仲村昌栄氏選出される
	12月	27日	消防計画審議委員選任(任期満了に伴う)
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数28名)
	9月	20日	管理者 平良盛忠氏任期満了により退任
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員佐久川盛有・平田清勇・朝崎勉各氏任期満了により退任
昭和62年	9月	28日	仲里村議会選出の組合議員に佐久川盛有・平田清勇・与那城清光各氏が就任
	10月	22日	管理者に平良曾清氏就任
	11月		仲里村防火水槽2基設置(山城・比嘉)
	12月	27日	消防計画審議委員選任(仲里村選出議員3名)
	1月	14日	具志川村防火水槽1基設置(仲泊)
	3月	30日	指令車1台購入
昭和63年	12月	11日	仲里村防火水槽2基設置(銭田・宇根)
	2月	28日	職員1名退職
	3月	31日	織見監査委員 藤村真忠氏任期満了により退任
	3月	31日	仲里村消火栓3基設置(謝名堂)
	4月	1日	織見監査委員に喜久里猛氏就任
	6月	18日	消防庁舎出入口工事着工
平成元年	8月	1日	消防職員1名採用(職員数28名)
	8月	2日	消防庁舎出入口工事竣工
	9月	6日	訓練棟建築工事着工
	10月	1日	消防庁舎新築工事着工
	12月	23日	仲里村防火水槽2基設置(儀間・真我里)
	12月	31日	職員1名退職
平成2年	3月	4日	訓練棟建築工事竣工
	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員仲村昌栄・仲真良典・田端善裕各氏任期満了により退任
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員に島袋完英・仲真良典・新城教一各氏が就任
	4月	1日	次長 山里昌輝氏退任し具志川村役場へ復帰
	4月	1日	次長に仲宗根朝助氏具志川村役場より就任
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数28名)
平成3年	4月	24日	組合議会議長に島袋完英氏選出される
	6月	30日	仲里村消火栓3基設置(真我里・比嘉2基)
	11月	24日	消防庁舎新築工事竣工
	1月	22日	久米島消防組合庁舎落成式
	3月	10日	第1回消防フェア開催
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員佐久川盛有・平田清勇・与那城清光各氏任期満了により退任
平成3年	9月	27日	議選監査委員 平田清勇氏任期満了により退任
	9月	28日	仲里村議会選出の組合議員に与那城清光・山城篤三・江洲良徳各氏が就任
	10月	2日	議選監査委員に山城篤三氏就任
	10月	6日	幼年消防クラブ結成
	11月	19日	救急車贈呈式(東京)
	11月	30日	日本損害保険協会より小型ポンプ寄贈(2台)
平成3年	2月	18日	収入役 仲村昌清氏退任
	3月		具志川村防火水槽2基設置(仲地・嘉手苺)
	3月	18日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入

	3月	24日	初代消防長川端信一氏退任
	3月	25日	収入役に川端信一氏就任
	4月	1日	消防長に幸地良雄氏就任
	6月	30日	職員1名退職(仲里村役場に採用)
平成4年	11月	7日	幼年消防クラブ結成式
	3月	27日	仲里村防火水槽2基設置(真謝・真我里)
	3月	31日	次長 仲宗根朝助氏退任し具志川村役場へ復帰
	4月	1日	次長 山城英明氏具志川村役場より就任
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数28名)
	12月	25日	具志川村消火栓1基設置(具志川)
平成5年	12月	26日	広報車(クラウン セダン スーパーDX 2000cc)購入
	3月	8日	訓練場擁壁工事完成
	3月	10日	救助資器材一式購入
	3月	10日	救助ボート購入(アキレス)
	3月	25日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)消防無線(車載)購入
	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員島袋完英・仲真良典・新城教一各氏が任期満了により退任
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員に盛本昌明・大田哲也・田里市郎各氏が就任
	4月	7日	組合議会議長に盛本昌明氏選出される
平成6年	9月	2日	台風13号久米島を直撃、災害救助法適用される
	2月	28日	具志川村防火水槽2基設置(西銘・嘉手苺)
	3月	31日	職員2名退職(うち1名具志川村役場へ採用)
	4月	1日	消防職員2名採用(職員数28名)
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員与那城清光・山城篤三・江洲良徳各氏任期満了により退任
	9月	27日	議選監査委員山城篤三氏任期満了により退任
	9月	28日	仲里村議会選出の組合議員に糸数誠三・翁長英夫・山川正員各氏が就任
平成7年	10月	14日	議選監査委員に翁長英夫氏就任
	3月	15日	仲里村防火水槽2基設置(比屋定・真我里)
	3月	31日	署非常用発電機設置
	10月	13日	久米島消防組合設立15周年記念式典
	12月	18日	具志川村防災避難訓練
平成8年	12月	27日	救急車(ⅡB型)購入
	2月	16日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入
	3月	8日	具志川村防火水槽2基設置(仲泊・大原)
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	4月	25日	第9回救急救命士国家試験1名合格
	7月	31日	職員1名退職
	8月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	9月	16日	織見監査委員喜久里猛氏任期満了により退任
	9月	17日	織見監査委員に中村昌栄氏就任
	9月	28日	副管理者 野村時雄氏任期満了により退任
	9月	29日	副管理者に内間清六氏就任
	10月	3日	南部消防協議会消防団操法大会(久米島於)
平成9年	10月	4日	南部消防総合訓練(久米島於)
	3月	5日	小型動力ポンプ付水槽車購入(10,000ℓ)
	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員盛本昌明・大田哲也・田里市郎各氏任期満了により退任
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員に田原勇・知念弘・国吉修各氏が就任
	3月	31日	次長 山城英明氏退任し具志川村役場へ復帰
	3月	31日	職員1名退職(4月1日付仲里村役場採用)
	4月	1日	次長に仲村渠一男氏就任
	4月	1日	消防職員2名採用(職員数29名)
	4月	15日	組合議会議長に田原勇氏選出される
	4月	24日	第11回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士2名となる)
平成10年	7月	18日	久米島空港ジェット化共用開始・東京直行便開設
	3月	17日	具志川村防火水槽2基設置(嘉手苺・仲村渠)
	4月	1日	仲村渠一男次長 沖縄県(県消防学校)へ派遣
	4月	23日	第13回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士3名となる)

	7月	31日	収入役川端信一氏退任
	9月	20日	管理者平良曾清氏任期満了により退任
	9月	27日	仲里村議会選出の組合議員糸数誠三・翁長英夫・山川正員各氏任期満了により退任
	9月	27日	議選監査委員翁長英夫氏任期満了により退任
	9月	28日	仲里村議会選出の組合議員に崎村稔・翁長英夫・真栄平勝政各氏が就任
	9月	28日	議選監査委員に翁長英夫氏就任
	10月	5日	管理者に高里久三氏就任
	12月	1日	収入役に宮平信順氏就任
平成11年	4月	1日	消防職員1名採用(職員数30名)
	4月	22日	第15回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士4名となる)
	9月	31日	職員1名退職(具志川村役場に採用)
	10月	1日	消防職員1名採用(職員数30名)
平成12年	12月	16日	具志川村総合防災訓練
	2月	18日	消防長 幸地良雄氏県消防功労者受賞
	3月	20日	救助工作車(Ⅱ型)購入
	4月	20日	公立久米島病院開院による救急業務開始
	4月	21日	第17回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士5名となる)
	7月		九州・沖縄サミット特別警戒
	9月	1日	沖縄県総合防災訓練(県・久米島周辺離島地域)
	9月	17日	識見監査委員 中村昌栄氏任期満了により退任
	9月	18日	識見監査委員 中村昌栄氏再就任
平成13年	10月	20日	島尻地区自主防災組織に小型動力ポンプ付軽自動車を配備
	1月	26日	公立久米島病院と業務運用に関する協定を締結
	2月	2日	高規格救急車購入
	3月	7日	消防長 幸地良雄氏消防功労者消防庁長官表彰式において功労章受賞
	3月	13日	救急救命士制度運用開始
	3月	30日	具志川村議会選出の組合議員田原勇・知念弘・国吉修各氏任期満了により退任
	3月	31日	消防長 幸地良雄氏退任し仲里村役場へ復帰(同日定年退職)
	3月	31日	具志川村議会選出の組合議員に大田哲也・知念弘・與那嶺孝成各氏が就任
	4月	1日	消防長に幸地猛氏就任(仲里村役場より)
	4月	1日	仲村渠一男次長復帰(県消防学校より)
	4月	1日	新垣健消防士長 沖縄県(県消防学校)へ派遣
	4月	10日	第19回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士6名となる)
	4月	24日	組合議会議長に大田哲也氏選出される
	10月	5日	両村合併協定調印式
平成14年	11月	1日	第20回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士7名となる)
	2月	5日	小型動力ポンプ付軽消防車贈呈式(比屋定地区自主防災組織)
	3月	11日	比屋定地区自主防災組織結成式
	3月	31日	久米島消防組合閉庁式典(久米島消防組合閉庁)
	4月	1日	構成村(仲里村・具志川村)が地方自治法第7条に規定する市町村の廃置分合が行われたため、久米島町消防本部に名称変更
	7月	24日	全国消防長会総会に於いて前消防長幸地良雄氏功労章受賞
	7月	27日	久米島町女性消防クラブ結成総会(結成式)
	9月	1日	久米島町防災訓練(避難訓練)
	10月	17日	久米島町防災訓練(災害対策訓練)
	10月	30日	久米島町幼年消防クラブ結成式(名称変更により再結成)
平成15年	12月	27日	体力錬成室増築(72㎡)
	3月	20日	体力錬成器具購入(設置)
	3月	25日	防火水槽2基設置(真謝・比嘉)
	4月	1日	職員1名町長部局へ出向
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数30名)
	4月	18日	第23回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士8名となる)
	8月	9日	耐震性防火水槽2基設置(仲泊)
	10月	23日	第16回全国女性消防操法大会(横浜市) (久米島町女性消防クラブが県代表として出場・敢闘賞受賞)
平成16年	11月	5日	第24回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士9名となる)
	2月	12日	全日本消防人共済会より小型ポンプ積載車両寄贈
	3月	15日	指令車(ランドクルーザー)購入(更新)
	4月	1日	新垣健消防士長復帰(沖縄県消防学校派遣より)

	4月	1日	職員1名町長部局へ出向(職員数29名)
	8月	17日	職員1名退職(職員数28名・救急救命士8名となる)
	8月	18日	耐震性防火水槽1基設置(西奥武)
平成17年	9月	2日	久米島町防災訓練(災害対策本部設置訓練)
	4月	1日	久米島町機構改革によりグループ制を導入
	4月	1日	消防長幸地猛氏退任・久米島町役場へ復帰
	4月	1日	消防長に山城英明氏就任
	4月	1日	職員1名久米島町役場より出向
	4月	19日	第27回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士9名となる)
	5月	17日	米軍ヘリ緊急着陸消防特別警戒(宇宇江城堂原・20日まで)
平成18年	11月	2日	第28回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士10名となる)
	1月	12日	携帯119番通報直接受信に切替
	8月	18日	第1回沖縄県救急無線広域化検討会議
	9月	3日	久米島町防災訓練
平成19年	10月	31日	気管挿管病院実習1名(10月31日～12月1日)
	3月	9日	(財)日本消防協会より赤バイ3台交付
	3月	28日	沖縄県消防広域化等対策会議
	4月	1日	職員1名町長部局へ出向
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	5月	21日	沖縄県防災情報システム操作研修会(県庁1名)
	7月	4日	久米島町老人会応急手当講習会
平成20年	9月	5日	沖縄県総合防災訓練(久米島町多目的広場)
	2月	4日	気管挿管病院実習1名(2月4日～4月24日)
	4月	1日	職員1名久米島町役場へ復帰
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	5月	19日	気管挿管実施認定1名
	9月	1日	薬剤投与病院実習1名(9月1日～9月8日)
	9月	17日	気管挿管病院実習1名(9月17日～10月22日)
	9月	30日	薬剤投与実施認定1名
平成21年	12月	15日	気管挿管実施認定1名
	3月	28日	水槽付消防ポンプ自動車購入
	3月	30日	救助ボート購入(更新)
	4月	1日	職員1名久米島町役場へ復帰
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	7月	3日	薬剤投与実施認定1名
	8月	31日	薬剤投与実施認定1名
平成22年	10月	16日	気管挿管実施認定1名
	3月	31日	高規格救急車購入
	4月	1日	消防長山城英明氏退任・久米島町役場へ復帰
	4月	1日	消防長に上里 浩氏就任
	4月	1日	消防職員1名採用(職員数29名)
	4月	1日	沖縄県広域化等研究協議会事務局へ1名派遣
	5月	24日	薬剤投与病院実習1名(5月24日～6月1日)
平成23年	6月	14日	薬剤投与実施認定1名
	3月	29日	水槽付消防ポンプ自動車購入
	4月	1日	職員1名町長部局へ出向
	4月	1日	消防職員1名採用(職員29名)
	9月	4日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
	9月	26日	薬剤投与・気管挿管病院実習1名(9月26日～11月1日)
平成24年	11月	28日	薬剤投与・気管挿管実習認定1名
	4月	1日	職員1名町長部局へ出向
	4月	1日	消防職員1名採用(職員29名)
	4月	1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名派遣
	9月	4日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
平成25年	7月	8日	職員1名退職(職員数28名)
	9月	4日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
平成26年	3月	20日	水槽付消防ポンプ自動車購入
	3月	31日	第37回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士12名となる)
	3月	31日	職員1名退職(職員数27名)

	4月	1日	消防職員2名採用(職員29名)
	4月	1日	救急救命士新採用(救急救命士13名となる)
	6月	1日	消防長上里浩氏退任・久米島町役場へ出向
	6月	1日	消防長に上江洲 勝志氏就任
	6月	2日	救急救命士就業前病院実習1名(6月2日～6月27日)
	8月	4日	薬剤投与実施認定1名
	9月	4日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
	11月	10日	救急救命士気管挿管病院実習(11月10日～12月26日)
	11月	17日	救急救命士就業前病院実習1名(11月17日～12月15日)
平成27年	1月	19日	薬剤投与実施認定1名
	2月	1日	救急救命士処置拡大研修(2月1日～2月5日)
	2月	12日	気管挿管実施認定1名
	2月	28日	新任救急隊員(救急救命士)研修(2月28日～3月11日)
	4月	1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名派遣
	7月	15日	救急救命士気管挿管病院実習(7月15日～8月21日)
	9月	4日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
	10月	7日	気管挿管実施認定1名
	12月	10日	(公益)日本消防協会より防災活動車1台交付
平成28年	3月	8日	心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖投与の実施認定1名
	3月	31日	消防長 上江洲 勝志氏退任
	4月	1日	消防長に浜元 浩氏就任
	4月	1日	消防職員2名採用(職員30名)
	4月	1日	救急救命士新採用(救急救命士14名となる)
	5月	19日	心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖投与の実施認定1名
	8月	1日	救急救命士就業前病院実習1名(8月1日～8月31日)
	9月	4日	救急救命士気管挿管病院実習1名(9月15日～11月10日)
	9月	15日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】
平成29年	1月	16日	高規格救急自動車配備
	2月	17日	心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖投与の実施認定2名
	3月	31日	第40回救急救命士国家試験1名合格(救急救命士15名となる)
	4月	1日	消防職員1名採用(職員31名)
	5月	8日	救急救命士就業前病院実習1名(5月8日～6月2日)
	5月	19日	心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖投与の実施認定1名
	7月	6日	救急救命士気管挿管病院実習1名(7月6日～9月7日)
	7月	10日	薬剤投与実施認定1名
	8月	14日	指導救命士認定1名
	8月	14日	心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖投与の実施認定2名
	10月	30日	気管挿管実施認定1名
	11月	2日	久米島町防災訓練【津波避難訓練】

(平成30年4月1日現在)

久米島町消防本部(署)・消防団機構図

